

法人単位資金収支計算書

(自)令和 5年 4月 1日 (至)令和 6年 3月31日

法人名：社会福祉法人 大住福祉会

(単位： 円)

勘 定 科 目		予 算 (A)	決 算 (B)	差 異 (A)-(B)	備 考
事業活動による収支	収入				
	保育事業収入	147,976,315	150,979,010	△ 3,002,695	
	受取利息配当金収入	92,220	92,749	△ 529	
	その他の収入	2,730,000	2,748,550	△ 18,550	
	事業活動収入計 (1)	150,798,535	153,820,309	△ 3,021,774	
	支出				
施設整備等による収支	人件費支出	113,895,000	116,288,453	△ 2,393,453	
	事業費支出	12,230,705	11,406,451	824,254	
	事務費支出	10,794,100	10,482,229	311,871	
	事業活動支出計 (2)	136,919,805	138,177,133	△ 1,257,328	
	事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	13,878,730	15,643,176	△ 1,764,446	
その他の活動による収支	施設整備等収入	772,000	772,000	0	
	施設整備等収入計 (4)	772,000	772,000	0	
	固定資産取得支出	1,698,400	1,860,100	△ 161,700	
	施設整備等支出計 (5)	1,698,400	1,860,100	△ 161,700	
	施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	△ 926,400	△ 1,088,100	161,700	
その他の活動による収支	収入				
	その他の活動収入計 (7)	0	0	0	
	支出				
	積立資産支出	13,000,000	14,600,000	△ 1,600,000	
	その他の活動による支出	△ 103,516	△ 103,516	0	
その他の活動による収支	その他の活動支出計 (8)	12,896,484	14,496,484	△ 1,600,000	
	その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	△ 12,896,484	△ 14,496,484	1,600,000	
	予備費支出 (10)	55,846	—	55,846	
		0			
	当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	58,592	△ 58,592	
前期末支払資金残高 (12)		66,672,861	66,672,861	0	
当期末支払資金残高 (11)+(12)		66,672,861	66,731,453	△ 58,592	

法人単位事業活動計算書

（自）令和 5年 4月 1日 （至）令和 6年 3月31日

法人名：社会福祉法人 大住福祉会

（単位： 円）

勘 定 科 目		当 年 度 決 算 (A)	前 年 度 決 算 (B)	増 減 (A)-(B)	
サ ー ビ ス 活 動 増 減 の 部	収益	保育事業収益	150,979,010	154,560,505	△ 3,581,495
	費用	サービス活動収益計 (1)	150,979,010	154,560,505	△ 3,581,495
		人件費	116,288,453	132,534,224	△ 16,245,771
		事業費	11,406,451	14,083,754	△ 2,677,303
		事務費	10,482,229	9,165,804	1,316,425
		減価償却費	12,645,202	14,455,790	△ 1,810,588
		国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 2,948,756	△ 3,059,256	110,500
		サービス活動費用計 (2)	147,873,579	167,180,316	△ 19,306,737
サービス活動増減差額 (3)=(1)-(2)		3,105,431	△ 12,619,811	15,725,242	
サ ー ビ ス 活 動 外 増 減 の 部	収益	受取利息配当金収益	92,749	108,444	△ 15,695
		その他のサービス活動外収益	2,748,550	2,354,032	394,518
		サービス活動外収益計 (4)	2,841,299	2,462,476	378,823
	費用				
		サービス活動外費用計 (5)	0	0	0
サービス活動外増減差額 (6)=(4)-(5)		2,841,299	2,462,476	378,823	
経常増減差額 (7)=(3)+(6)		5,946,730	△ 10,157,335	16,104,065	
特 別 増 減 の 部	収益	施設整備等補助金収益	772,000	0	772,000
	特別収益計 (8)	772,000	0	772,000	
	費用	固定資産売却損・処分損	4	5	△ 1
		国庫補助金等特別積立金積立額	772,000	0	772,000
		特別費用計 (9)	772,004	5	771,999
	特別増減差額 (10)=(8)-(9)		△ 4	△ 5	1
当期活動増減差額 (11)=(7)+(10)		5,946,726	△ 10,157,340	16,104,066	
繰 越 活 動 増 減 差 額 の 部	前期繰越活動増減差額 (12)		171,786,308	231,943,648	△ 60,157,340
	当期末繰越活動増減差額 (13)=(11)+(12)		177,733,034	221,786,308	△ 44,053,274
	基本金取崩額 (14)		0	0	0
	その他の積立金取崩額 (15)		0	0	0
	その他の積立金積立額 (16)		14,600,000	50,000,000	△ 35,400,000
	次期繰越活動増減差額 (17)=(13)+(14)+(15)-(16)		163,133,034	171,786,308	△ 8,653,274

法人単位貸借対照表

令和 6年 3月31日現在

法人名：社会福祉法人 大住福社会

（単位： 円）

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当 年 度 末	前 年 度 末	増 減		当 年 度 末	前 年 度 末	増 減
流動資産	75,246,951	71,331,091	3,915,860	流動負債	8,515,498	4,658,230	3,857,268
現金預金	63,822,598	61,674,423	2,148,175	事業未払金	4,196,580	2,683,074	1,513,506
事業未収金	8,000	0	8,000	預り金	6,339	398	5,941
未収補助金	11,117,090	9,330,150	1,786,940	職員預り金	4,312,579	1,974,758	2,337,821
前払金	34,377	104,312	△ 69,935				
前払費用	264,886	222,206	42,680				
固定資産	308,053,418	304,342,040	3,711,378	固定負債	0	0	0
基本財産	183,494,722	189,484,047	△ 5,989,325	負債の部合計	8,515,498	4,658,230	3,857,268
建物	183,494,722	189,484,047	△ 5,989,325	純 資 産 の 部			
その他の固定資産	124,558,696	114,857,993	9,700,703	基本金	57,338,545	57,338,545	0
建物	25,290,507	26,193,230	△ 902,723	国庫補助金等特別積立金	69,313,292	71,490,048	△ 2,176,756
構築物	6,223,404	8,025,521	△ 1,802,117	その他の積立金	85,000,000	70,400,000	14,600,000
器具及び備品	7,563,777	9,622,424	△ 2,058,647	人件費積立金	30,000,000	30,000,000	0
権利	481,008	513,302	△ 32,294	修繕積立金	43,000,000	28,400,000	14,600,000
人件費積立資産	30,000,000	30,000,000	0	備品等購入積立金	12,000,000	12,000,000	0
修繕積立資産	43,000,000	28,400,000	14,600,000	次期繰越活動増減差額	163,133,034	171,786,308	△ 8,653,274
備品等購入積立資産	12,000,000	12,000,000	0	（うち当期活動増減差額）	5,946,726	△ 10,157,340	16,104,066
長期前払費用	0	103,516	△ 103,516	純資産の部合計	374,784,871	371,014,901	3,769,970
資産の部合計	383,300,369	375,673,131	7,627,238	負債及び純資産の部合計	383,300,369	375,673,131	7,627,238

財 産 目 録

令和6年3月31日現在

社会福祉法人 大住福祉会

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
Ⅰ 資産の部						
1 流動資産						
現金預金		-		-	-	63,822,598
現金	現金手許有高	-	運転資金として	-	-	78,377
普通預金	京都銀行大住支店 No. 646636	-	"	-	-	13,192,816
	京都銀行大住支店 No. 650104	-	"	-	-	24,152,933
定期預金	京都銀行大住支店 No. 1041901	-	"	-	-	26,398,472
事業未収金		-	臨時延長保育料	-	-	8,000
未収補助金		-	特別保育事業費補助金等	-	-	11,117,090
前払金		-	2024年度購読料	-	-	34,377
前払費用		-	2024年度火災保険料等	-	-	264,886
流動資産合計						75,246,951
2 固定資産						
(1) 基本財産						
建物	京都府京田辺市大住下西野77番地、78番地 所在の鉄筋コンクリート造かわらぶき陸屋根2階建 大住保育園園舎1棟 1階455.62㎡ 2階393.31㎡ 木造スレートぶき平家建大住保育園園舎1棟 1階158.01㎡	2000年度 2012年度 2020年度	第2種社会福祉事業である、大住保育園等に使用している	223,419,820 19,963,427 51,200,858	102,091,440 4,867,744 4,130,199	121,328,380 15,095,683 47,070,659
小 計						183,494,722
基本財産合計						183,494,722
(2) その他の固定資産						
建物	京都府京田辺市大住下西野77番地、78番地 所在の鉄筋コンクリート造かわらぶき陸屋根2階建 大住保育園園舎1棟1階455.62㎡ 2階393.31㎡ 木造スレートぶき平家建大住保育園園舎1棟 1階158.01㎡	2012年度 2013年度 2020年度 2023年度	第2種社会福祉事業である、大住保育園等に使用している	6,970,663 1,890,000 29,197,430 1,698,400	5,176,282 1,889,999 7,371,257 28,448	1,794,381 1 21,826,173 1,669,952
小 計						25,290,507
構築物	園庭遊具等	-	保育事業用	38,518,023	32,294,619	6,223,404
器具及び備品	エアコン、厨房機器等	-	保育事業用	28,288,320	20,724,543	7,563,777
権利	電話加入権等	-	保育事業用	604,800	123,792	481,008
ソフトウェア	栄養計算ソフト	-	保育事業用	179,712	179,712	0
人件費積立資産	京都銀行大住支店 No. 650104	-	将来における人件費のために積み立てている普通預金	-	-	30,000,000
修繕積立資産	京都銀行大住支店 No. 650104	-	将来における修繕費のために積み立てている普通預金	-	-	43,000,000
備品等購入積立資産	京都銀行大住支店 No. 650104	-	将来における備品等購入費のために積み立てている普通預金	-	-	12,000,000
その他の固定資産合計						124,558,696
固定資産合計						308,053,418
資産合計						383,300,369
Ⅱ 負債の部						
1 流動負債						
事業未払金	3月分給食材料等	-		-	-	4,196,580
預り金	3月分源泉所得税	-		-	-	6,339
職員預り金	3月分社会保険料等	-		-	-	4,312,579
流動負債合計						8,515,498
2 固定負債						
固定負債合計						0
負債合計						8,515,498
差引純資産						374,784,871

計算書類に対する注記（法人全体用）

1. 重要な会計方針

(1)資産の評価基準及び評価方法

該当なし

(2)固定資産の減価償却の方法

- ・建物 — 定額法
- ・構築物 — 定額法
- ・器具及び備品 — 定額法
- ・ソフトウェア — 定額法
- ・権利 — 定額法

(3)引当金の計上基準

- ・賞与引当金 — 重要性に乏しいため計上しない。
- ・徴収不能引当金 — 重要性に乏しいため計上しない。

2. 重要な会計方針の変更

該当なし

3. 法人で採用する退職給付制度

退職給付制度は、京都社会福祉事業企業年金基金が実施する退職給付制度及び、独立行政法人福祉医療機構が実施する社会福祉施設職員等退職手当共済制度に加入している。

4. 法人が作成する計算書類と拠点区分、サービス区分

当法人の作成する計算書類は以下のとおりになっている。

- (1) 法人全体の計算書類(会計基準省令第1号第1様式、第2号第1様式、第3号第1様式)
- (2) 事業区分別内訳表(会計基準省令第1号第2様式、第2号第2様式、第3号第2様式)

当法人では、事業区分が社会福祉事業のみのため、省略する。

- (3) 社会福祉事業における拠点区分別内訳表(会計基準省令第1号第3様式、第2号第3様式、第3号第3様式)
- (4) 収益事業における拠点区分別内訳表(会計基準省令第1号第3様式、第2号第3様式、第3号第3様式)

当法人では、収益事業を実施していないため、作成していない。

(5)各拠点区分におけるサービス区分の内容

ア 法人本部拠点（社会福祉事業）

「本部」

イ 大住保育園拠点(社会福祉事業)

「大住保育園」

5. 基本財産の増減の内容及び金額

(単位: 円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
建物	189,484,047	0	5,989,325	183,494,722
合計	189,484,047	0	5,989,325	183,494,722

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩
該当なし

7. 担保に供している資産

該当なし

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。(単位: 円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物(基本財産)	294,584,105	111,089,383	183,494,722
建物	39,756,493	14,465,986	25,290,507
構築物	38,518,023	32,294,619	6,223,404
器具及び備品	28,288,320	20,724,543	7,563,777
合計	401,146,941	178,574,531	222,572,410

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

該当なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

11. 関連当事者との取引の内容

該当なし

12. 重要な偶発債務

該当なし

13. 重要な後発事象

該当なし

14. 合併及び事業の譲渡若しくは事業の譲受け

該当なし

15. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

監 査 報 告 書

令和 6 年 5 月 27 日

社会福祉法人大住福祉会
理事長 関根眞治 殿

監事

高杉 美子

監事

松井 啓一

私たち監事は、令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日までの令和 5 年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以 上

令和5年度事業報告

施設運営

今年度4月は102名で始まり、5月7名、7月1名、8月2名、9月1名、10月5名、11月2名、12月1名、1月1名、2月1名、3月1名の入所があり、最終在園児数は122名、定員120名に対して今年度は2名の超過となった。

園の自己評価について、今年度ホームページ上に公表した。

園行事は、コロナ対応が収まり予定通り行えるようになったが、単発的に陽性者が出ることもあり注意が必要であった。コロナウイルス感染症は下火となったが、インフルエンザの流行が懸念され、当園でも若干インフルエンザで休む園児が続いたが、クラス閉鎖までには至らなかった。

2024年の運転士不足問題の影響により、10月後半に予定していた観光バスを使っての園外保育（京都動物園）は出来なかったが、3月の5歳児お別れ遠足は、観光バスを使って京都水族館へ行くことが出来た。次年度もバスを利用する予定であるので、早めにバスを予約確保したい。

施設内整備では、京都府農林水産部林業振興課の補助金事業を利用し、西側園庭の大階段の取替工事を実施した。（令和5年12月18・19日）

職員状況

9月末日付で調理師1名の退職、育児休業期間終了の保育士1名が10月27日より職場復帰（2歳児クラス担任）、結婚した職員1名、R6年1月管理栄養士1名を採用し、パート保育士1名を令和6年4月1日付で常勤職員とする予定である。

施設経営

今年度当初2,250万円のマイナスを予想していたが、資金収支計算書上で14,658,592円のプラスとなった。プラス要因としては、収入面では約358万円減少しているが、人件費が約1,624万円、その他の経費が約136万円減少したことによる結果である。

人件費は、当初の97.9%から中間報告時（11月理事会時点）78.0%から最終的に75.6%となり、施設運営において理想的な数字となった。次年度も、収支バランスを考えながら無駄のない施設経営を行って行きたい。

また、きょうと福祉人材育成認証制度に係る認証審査を令和5年11月28日（火）に受審し、令和6年3月1日付にて認証事業者として法人が認証された。

令和5年度4月～3月の園児数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0標	3	3	3	3	2	2	4	4	4	6	7	9
短	1	1	1	1	4	4	6	6	6	5	5	4
1標	16	19	20	20	20	22	23	19	21	22	22	22
短	1	3	2	3	3	2	2	6	4	3	3	3
2標	12	12	12	11	10	8	8	8	8	8	9	9
短	3	3	3	3	4	6	6	5	6	6	5	5
3標	23	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24
短	0	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2
4標	19	19	19	19	18	18	18	18	18	18	18	18
短	1	1	1	1	2	2	2	3	3	3	3	3
5標	20	20	20	20	19	20	20	19	20	20	20	20
短	3	3	3	3	4	3	3	4	3	3	3	3
合計	102	109	109	109	111	112	117	118	119	120	121	122

標準時間児計 1,156名 短時間児計 213名 総園児数合計 1,369名

令和5年度職員数27名

内訳：園長1名、主任保育士1名、副主任保育士2名、保育士17名
保育補助者2名、調理員4名（調理師3名・栄養士1名）

嘱託職員2名（内科・歯科）

令和5年度年間行事予定		令和5年度年間行事実施状況
4月	・入園式〔進級児を含む全園児保護者出席〕4日(火)	式は行わず、説明会のみ実施
5月	・尿検査 17日(水) ・園外保育〔4、5歳児〕19日(金) ・保育参観〔3～5歳児〕23日(火)24日(水)26日(金)30日(火) ・内科健診 25日(木)	5/17(水) 予定通り実施 5/19(金) 雨天のため中止 5/23(火)～30日(火) 予定通り実施 5/25(木) 予定通り実施
6月	・歯科検診 8日(木) ・個人懇談 5日(月)～16日(金)※土日除く ・花の日礼拝 13日(火)	6/8(木) 予定通り実施 6/5(月)～16(金) 予定通り実施 6/13(火) 礼拝後慰問実施(九十九園・大住駐在所他)
7月	・お泊り会〔5歳児〕14日(金)～15日(土)	7/14(金)～15日(土) 予定通り実施
9月	・保護者会主催園庭整備 2日(土)	9/2(土) 予定通り実施
10月	・運動会〔2～5歳児〕14日(土)雨天順延 ・園外保育〔3～5歳児〕27日(金)	10/14(土) 運動会(2～5歳児) 予定通り実施 10/27(金) 予定通り実施
11月	・保育参加・参観〔0～2歳児〕10/31日(火)11/1日(水)2日(木) ・内科健診 9日(木) ・保護者会主催なかよしフェスタ 11日(土) ・収穫感謝祭 15日(水) ・歯科検診 30日(木)	10/31(火)11/1(水)2(木) 予定通り実施 11/9(木) 予定通り実施 11/11(土) 予定通り実施 11/15(水) 予定通り実施 11/30(木) 予定通り実施
12月	・クリスマス礼拝・祝会〔4・5歳児の保護者出席〕20日(水)	12/20(水) 予定通り実施
2月	・豆まき 2日(金) ・親子で遊ぼう会〔0・1歳児〕保育発表会〔2～5歳児〕17日(土) ・個人懇談〔希望者〕27日(火)～3/1日(金)	2/2(金) 予定通り実施 2/18(土) 予定通り実施 2/27(月)～3/1(金) 予定通り実施
3月	・お別れ遠足〔5歳児〕8日(金) ・お別れ会 12日(火) ・卒園式〔卒園児保護者出席〕25日(月)	3/8(金) お別れ遠足(京都水族館) 予定通り実施 3/12(火) 予定通り実施 3/25(月) 第72回卒園式 予定通り実施
随時	・発育測定・避難訓練・合同礼拝・お楽しみ会	予定通り随時実施
次年度入園進級式 4月4日(木)		

令和6年度（2024年度）事業計画

社会福祉法人大住福祉会 大住保育園

1 施設の目的、運営方針

保育理念

社会福祉法人大住福祉会の運営する大住保育園は、キリスト教保育に基づき、将来の社会を担うべき子どもたちが、今の時を喜びと感謝をもって生き、愛他的能力に充ちた人間として成長できるよう育成し、望ましい未来を作り出す力の基礎を培う。

保育目標〔豊かに伸びる〕

- ・自分自身が大切なひとりとして受け入れられていることを感じとり、自分自身を喜びと感謝をもって受け入れるようになる。
- ・互いの違いを認めつつ、一緒に過ごす努力をし、そのことを喜びとするようになる。
- ・自分の力で考え、心を動かし、探求し、判断し、想像力を持ち、創造的にさまざまな事柄に関わるようになる。
- ・自然や世界の事柄に関心をもち、自分たちのできることを考え、行うようになる。
- ・してはいけないことをしようとする思いが、自分の中にあることに気づき、そのような思いに負けない勇氣を持ち、行動することができるようになる。

保育方法

- ・一人一人の子どもの家庭環境を把握し、子どもの健康と安全を基本にくつろいだ雰囲気の中で楽しく保育する。
- ・礼拝や生活のいろいろな面を通して、豊かな人間性を養う。
- ・子ども一人一人に、深い心を寄せて、主体性を存分に躍動させる。生活や遊びを充分楽しみながら、知らず知らず健やかな身体とたくましい生命力を育てる。
- ・子どもに、身体的・精神的苦痛を与えない。また、人格を辱めることなどがないようにする。
- ・保護者と誠実に接することにより、信頼関係を築き、保育に関する要望や意見・相談に解りやすい用語で説明をして、公的施設としての社会的責任を果たす。
- ・保育計画は、保育目標を踏まえ乳幼児の実態に即して作成し、個人差に十分配慮しながら展開する。よりよき保育を行うために、常に評価・反省を行う。
- ・保育者は常に自発的に学び、ひとりの人間として自分自身をより成長させるために努力する。

2 職員体制

園長 1 人 保育士 22 人 保育補助 1 人 栄養士 3 人 調理師 1 人

3 保育を提供する日

開園日：月曜日から土曜日まで

休園日：年末年始（12月29日～1月3日）

日曜日・国民の祝日に関する法律に規定する祝日および休日

入園進級式の午後

暴風警報および暴風雪警報発令時

暴風雨、暴風雪、大雨、大雪、洪水その他の異常な自然現象により生じる災害の発生が予想されるとき

その他園長が特に必要と認めた日

4 保育を提供する時間

開園時間

月曜日～金曜日：午前7時～午後7時 土曜日：午前7時～午後4時

施設・法人運営について

令和6年度（2024年度）4月入所児童は、新入児13名・継続児97名、合計110名と、2年続けて定員割れでのスタートとなった。前年度は、途中入所児が多かったため、1月に120名、2月121名、3月122名となった。今年度も、同様であると思われるが、次年度以降の定員数については、減員することも視野に入れ検討したい。入所児童の減少は委託費収入の減少であり、支出には十分気を付けて施設運営に努めて行きたい。

施設整備として、駐車場入口から玄関前までの通路にゴムチップマットを敷設する予定である。（7月以降工事予定・工事金額¥1,870,000.）この工事の補助財源として京都府の保育等子育て環境充実事業費補助金に申請予定である。

職員研修等については、「処遇改善加算Ⅱ」の対象者は、キャリアアップ研修の受講が必須となっており、今年度も対象となる職員は順次受講予定である。

職員状況については、令和5年度9月末日で調理師1名が退職し、令和5年度1月1日付で調理師1名を常勤職員として採用した。令和6年度は、既卒者で3年11か月保育所勤務経験のある男性保育士1名の採用を予定。また、令和6年度4月より障がい児に対する加配補助金が京田辺市において予算化されたことを受けて、主に加配担当の保育士を2名採用予定である。入所児童が少なく、現有職員数で十分に配置基準を満たせる状態ではあるが、令和5年度の途中入所児のほとんどが乳児（0～2歳児）であったことを考慮すると保育士不足となるため、保育士の確保が必要となった。

その他職員状況は、栄養士が6月上旬に育児休業あけで、職場復帰予定であったが第二子のこども園入園が6月からでは入園できないため、5月に前倒し5月13日（月）職場復帰となった。

法人運営

法人全体では、当初予算において途中入所児を考慮していないため、大きくマイナス予算となっている。このマイナスは、障がい児加配に関する補助金の収入・支出の予想が難しいためである。人件費率も、令和5年度第2次補正予算上の75.4%から令和6年度当初予算上では、87.2%と極めて高い数字となっており、半期で収支の運営バランスを見て、無駄の出ないように運営を行っていく計画である。

令和6年度入所児童予定数

	0歳児		1歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児		合計	
	新	継	新	継	新	継	新	継	新	継	新	継	新	継
標準時間	2	1	8	8	0	23	0	8	0	24	1	18	11	82
短時間	1		1	4	0	2	0	4	0	2	0	3	2	15
合計	4		21		25		12		26		22		110	

〈年間行事予定表〉

4	☆◇入園進級式〔進級児を含む全園児保護者出席〕 4日(木)
5	・尿検査 15日(水) ・園外保育〔4、5歳児〕 17日(金) ☆◇保育参観〔3～5歳児〕 21日(火)22日(水)24日(金) ・内科健診 23日(木)
6	・歯科検診 6日(木) ☆個人懇談 3日(月)～14日(金) ※土、日除く ・花の日礼拝 11日(火)
7	・お泊り会〔5歳児〕 12日(金)～13日(土)
8	★保護者会主催園庭整備 31日(土)
10	☆◇運動会〔2～5歳児〕 5日(土) 予備日 9日(水) ・園外保育〔3～5歳児〕 25日(金) ☆◇保育参加〔0～2歳児〕 30日(水) 31日(木) 11月1日(金)
11	・内科健診 7日(木) ★保護者会主催なかよしフェスタ 9日(金) ・収穫感謝祭 13日(水) ・歯科検診 14日(木)
12	☆◇クリスマス礼拝・祝会〔4・5歳児の保護者出席〕 18日(水)
2	・豆まき 3日(月) ☆◇親子で遊ぼう会〔0・1歳児〕・保育発表会〔2～5歳児〕 15日(土) ☆個人懇談〔希望者〕 18日(火)・19日(水)・27日(木)・28日(金)
3	・お別れ遠足〔5歳児〕 7日(金) ・お別れ会 11日(火) ☆◇卒園式〔卒園児保護者出席〕 24日(月)
随時	・発育測定 ・避難訓練 ・合同礼拝 ・お楽しみ会
次年度入園進級式 4月4日(金)	

- ・☆印は、保護者の方にも参加していただく行事ですので、ご都合をつけてご協力くださいますようお願いいたします。(★は保護者会主催) なお、午前中のみで終了する行事もあります。
- ・◇印の行事の時、希望者は料金 500 円を払って駐車できます。(事前申込制)
- ・行事の日程はあくまで予定です。変更になる場合がありますのでご了承ください。詳しい日時等は、毎月の園だより等にてお知らせします。

大住保育園 2024 年度 全体的な計画

保育理念		社会福祉法人大住福祉会の運営する大住保育園は、キリスト教保育に基づき、将来の社会を担うべき子どもたちが、今の時を喜びと感謝をもって生き、愛他能力に充ちた人間として成長できるよう育成し、望ましい未来を作り、力の基礎を培う。				保育園の社会的責任		保育の計画と評価									
保育目標 (豊かに伸びる)		・自分自身が大切なひとりとして受け入れられていることを感じとり、自分自身を喜びと感謝をもって受け入れるようになる。 ・互いの違いを認めつつ、一緒に過ごす努力をし、そのことを喜びとするようになる。 ・自分の力で考え、心を動かし、探求し、判断し、想像力を持ち、創造的にさまざまな事柄に関わるようになる。 ・自然や世界の事柄に関心をもち、自分たちのできることを考え、行うようになる。 ・してはいけないことをしようとする思いが、自分の中にあることに気づき、そのような思いに負けない勇気を持ち、行動することができるようになる。				・人権に配慮する ・子どもの人格を尊重し保育を行う ・地域社会との交流や連携を図り、保育の内容を適切に説明する ・個人情報適切に取り扱う ・保護者の苦情解決を図るよう努める。		保育の目標を達成するため、方針や目標に基づき、子どもの発達過程を踏まえた保育の内容が組織的・計画的に構成され総合的に展開されるよう、全体的な計画を作成する。これに基づき指導計画、保健計画、食育計画等を作成する。保育士等の自己評価、保育所の自己評価を行い、公表し、保育内容の改善を図る。									
保育の方法 (目指す保育士像)		・一人一人の子どもの家庭環境を把握し、子どもの健康と安全を基本にくつろいだ雰囲気の中で楽しく保育する。 ・礼拝や生活のいろいろな面を通して、豊かな人間性を養う。 ・子ども一人一人に、深い心を寄せて、主体性を存分に躍動させる。生活や遊びを充分楽しめる環境を整えながら、知らず知らず健やかな身体とたくましい生命力を育てる。 ・子どもに、身体的・精神的苦痛を与えない。また、人格を辱めることなどがないようにする。 ・保護者と誠実に接することにより、信頼関係を築き、保育に関する要望や意見・相談に解りやすい用語で説明をして、公的施設としての社会的責任を果たす。 ・保育計画は、保育目標を踏まえ乳幼児の実態に即して作成し、個人差に十分配慮しながら展開する。よりよき保育を行うために、常に評価・反省を行う。 ・保育者は常に自発的に学び、ひとりの人間として自分自身をより成長させるために努力する。				養護に関する基礎的事項 ・養護とは、子どもの生命の保持及び情緒の安定を図るために保育士等が行う援助や関わり。 ・保育所における保育は、養護及び教育を一体的に行う。 ・養護に関するねらい及び内容を踏まえた保育を展開する。		幼児教育を行う施設として共有すべき事項 生涯にわたる生きる力の基礎を培うため、保育の目標を踏まえ、資質・能力の3本の柱を一体的に育むよう努める。「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は、ねらい及び内容に基づく保育活動全体を通して資質・能力が育まれている子どもの小学校就学時の具体的な姿であり、保育士等が指導を行う際に考慮する。									
保育の時間など		標準時間 7:00～18:00 (延長 18:00～19:00) 土曜 7:00～16:00 短時間 8:30～16:30 土曜 7:00～16:00				小学校との連携 (小学校教育との接続)		子どもの発達・生活リズム及び心身の状態に十分配慮し、通常保育とのバランスを考慮し、一日の疲れや保護者を待つ気持ちを受け止め温かい対応を行う。家庭との密接な連携を行うと共に、職員間の協力体制と子どもの正確な情報の伝達を通し、子どもが不安を抱くことなく過ごせる環境と保育を保証する。									
行事		入園進級式、園外保育、内科健診、保育参加、歯科検診、個人懇談、花の日礼拝、お泊り会、運動会、なかよしフェスタ、クラス懇談・保育参観、収帳感謝祭、クリスマス礼拝、豆まき、遊び会、発表会、お別れ遠足、お別れ会、卒園式				保育所保育が、小学校以降の生活や学習の基礎の育成につながることに配慮し、幼児期にふさわしい生活を通じて、創造的な思考や主体的な生活態度などの基礎を培う。育まれた資質・能力を踏まえ、小学校教師との意見交換、研究の機会などを設け、「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」を共有するなどして、保育所保育と小学校教育との円滑な接続に努める。子どもに関する情報共有に関して、就学に際し、市町村の支援の下に、子どもの育ちを支えるための資料が保育所から小学校へ送付されるようにする。											
年齢		満1歳まで		1歳児 (満1歳から)		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児		小学校以上の教育との接続に鑑みて			
子どもの保育目標		・個々の生理的欲求を十分満たし、安定した応答的な生活の中で愛着関係を築き情緒を安定させる		・探索活動を十分し、周囲の人や物への興味、関心を広げ、意欲へとつなげる		・喜怒哀楽を十分表現でき、象徴機能や、観察力を発揮してあそびを広げようとする。		・友だちとの関わりの中で、保育士の仲立ちにより、相手の気持ちに気づく		・保育士や友だちとのつながりを広げ、集団で活動することを楽しむ、相手を感じようとする気持ちを持つ		・相手を感じようとする気持ちを持つ、生活やあそびの中で一つの目標に向かって力を合わせて活動する		育みたい資質・能力は小学校以上の個別の「知識や技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」につながるものである。また、この資質・能力を実現するためにアクティブ・ラーニングを用いる。			
養護	生命保持	・家庭との連携を密に取りながら、個々の生活リズムを大切にし、生理的欲求を満たす		・応答的な関わりを通して、生理的欲求を満たされるようにする		・安定した園生活を送る中で、身の周りのことを自分でしようとする気持ちを育てる		・基本的な生活習慣を身につけられるようにする		・基本的な生活習慣が身につく、自分のできることを喜びを感じられるようにする		・基本的な生活習慣が身につく、自分のできることに自信や満足感をもつ					
	情緒安定	・応答的な触れ合いにより愛着の絆を形成する		・子どもの気持ちを尊重し、共感しながら信頼関係を築く		・様々な自己主張を受け止め、一人ひとりの気持ちに共感し、自我の育ちを援助する		・自我の形成と共に主体的な行動や探索意欲が高められるようにする		・自己肯定感を育み、他者を受容する気持ちを育てる		・自己肯定感が育ち、仲間との一体感を感じながら自信を持って活動できるようにする					
教育	健やかに伸び育つ	・寝返り、ハイハイ、お座り、つたい歩き、立つ、歩くなどそれぞれの状態に合った活動を十分に行う ・園生活を通して食事・睡眠・あそびなど生活リズムの育ちを促す		健康	・歩行に伴い、探索活動が盛んになり、外界への興味や認識を広げていく	・全身や手指を使うあそびを楽しむ ・身のまわりの清潔や安全の習慣を少しずつ身につけていく		・外あそびを十分するなどあそびの中で体を動かす楽しさを味わう ・生活の流れがわかり、自分なりに身のまわりのことができるようになる		・危険なものや場所についてわかり、道具や用具などを使って体を動かしてあそぶ ・健康、安全な生活に必要な習慣に関心をもち、次第に身につけようとする		・危険な場所や事物などがわかり、安全について理解して行動する ・健康安全な生活に、必要な習慣が身につく、見過ぎをもつて行動する		10の姿	3本の柱		
	身近な人と関わりが通じ合う	・喃語や片言を優しく受け止めてもらい、応答的な関わりの中で、発語や保育士とのやりとりを楽しむ ・特定の保育士との深い関わりにより基本的信頼関係が生まれる		人間関係	・保育士との安定した関わりの中で周囲の人に自ら関わろうとする	・保育士の仲立ちにより、友だちと一緒に過ごす楽しさを知る		・やってはいけないことが分かったり、我慢しようとする ・簡単なルールを守ってあそぼうとする		・友だちの気持ちがわかり、喜びや悲しみを共感し合う ・友だちと楽しく生活する中で、決まりの大切さに気づき、守ろうとする		・互いに許したり、認めたりできるようになり、仲間意識を高める ・地域の人や近隣の友だちなど自分の生活に関係の深い人たちに親しみをもち、関わりを持つ		ア. 健康な心と体 イ. 自立心 ウ. 協調性 エ. 道徳性・規範意識の芽生え オ. 社会生活の関わり カ. 思考力の芽生え	ア. 豊かな体験を通じて感じたり、気付いたり、分ったりできるようになったりする「知識及び技能の基礎」 イ. 気付いたりできるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする「思考力、判断力、表現力等の基礎」		
	身近なものと関わり感性が育つ	・安心できる環境の下で、身近な物に興味・関心を持ち、つまむ・たたく・引っ張るなどの手や指を使ってのあそびを楽しむ ・讃美歌やわらべうたなどを歌いながら、歌やリズムに合わせて手足や体を動かして楽しむ		環境	・探索活動を通して、身近な玩具や道具、自然物に触れて十分あそぶ	・様々な物に触れ、好奇心を持ち、探索や模倣などを楽しむ ・保育士が仲立ちとなり、生活やあそびの中で言葉のやりとりを楽しむ		・身近な動植物や自然現象をよく見たり、触れたりして親しみ、命の大切さを育む ・生活に必要な言葉がある程度わかり、したいこと、してほしいことを言葉で表す		・自然や身近な事物、事象に触れ、驚いたり、感動したりして興味や関心を深める ・人の話を聞いたり、自分の経験したことや思っていることを話したりして言葉で伝える楽しさを感じる		・日常生活に必要な標識や身近にある文字などに興味や関心をもつ ・人の話を注意して聞き、相手にわかるように話したり、わからないことを尋ねたりする		キ. 自然との関わり・生命尊重 ク. 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ケ. 言葉による伝え合い コ. 豊かな感性と表現	ウ. 心情、意欲、態度等が育つ中で、よりよい生活を営もうとする「学びに向かう力、人間性等」		
		言葉	・保育士との応答的な関わりにより、声や言葉で気持ちを表そうとする		言葉	・保育士との安定した関わりの中で周囲の人に自ら関わろうとする	・保育士の仲立ちにより、友だちと一緒に過ごす楽しさを知る		・やってはいけないことが分かったり、我慢しようとする ・簡単なルールを守ってあそぼうとする		・友だちの気持ちがわかり、喜びや悲しみを共感し合う ・友だちと楽しく生活する中で、決まりの大切さに気づき、守ろうとする		・互いに許したり、認めたりできるようになり、仲間意識を高める ・地域の人や近隣の友だちなど自分の生活に関係の深い人たちに親しみをもち、関わりを持つ		イ. 気付いたりできるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする「思考力、判断力、表現力等の基礎」		
情報公開等		地域の実態に対応した保育事業と行事への参加		自己評価等		特色ある教育と保育		健康支援／状態把握・増進・疾病対応		環境及び衛生管理並びに安全管理 (危機管理計画別紙)		災害への備え (避難計画別紙)		子育て支援		職員の資質向上 (研修計画別紙)	
・人権尊重・虐待確認保護・個人情報保護・苦情処理解決対応及び第三者委員、学童等の配置、適正な園運営のための会計事務所による外部監査・ホームページの開設・給食試食会・障がい児保育・延長保育等		人的物的面的確保、保育士の確保により乳児保育を含む3歳未満児の受け入れを推進し、対応する。		・法人施設による適切な施設運営管理の評価・保育所の評価 (全体の反省による全体計画等の反映)・保育士等の評価 (自己評価と子どもの評価の確立)・自己チェックリストの実施と危機管理マニュアルの作成、習得		・キリスト教に基づく保育 ・自然を生かし、のびやかな心と体を育む保育 ・保育環境を整え、遊びを豊かにする保育		・健康及び発達遅延状態の定期的、継続的な把握・年2回の嘱託医による健康診断 (内科・歯科)・登園時及び保育中の状態観察、また異常が認められたときの適切な対応・職員健康診断及び毎月の検便		・施設内外の設備、用具等の清掃及び消毒等、安全管理及び自主点検 ・子ども及び職員の清潔保持・感染対策方針の作成と実施及び保護者との情報共有		・避難訓練 (火事・地震・風水害・不審者対応)の実施 ・消防署指導による消防訓練 ・被災時における対応と備蓄 ・年2回外部業者による消防設備点検 ・月1回消防設備等自主点検		教育及び児童福祉としての保育並びに子育て支援の有機的な連携が図られ、子どもの成長に気づき、子育ての喜びが感じられるよう子育て支援に努める		質の高い保育を展開するため、一人ひとりの職員についての資質向上及び職員全体の専門性の向上を図るよう努める。保育所職員に求められる専門性を理解し、保育の質の向上に向けた組織的な取り組みを行う。職場研修、外部研修など体系的な研修計画を作成し、結果を活用する。	

0歳児 月主題 月のねがい

2024年度 年主題 そのあ、漕ぎだそう 奏でよう	月	主題	月のねがい
	4月	はじめまして	・神さまからお預かりしている大切な存在として育まれる ・新しい環境の中で保育者や友だちにであう ・春の陽射しや風に心地よさを感じる (保)一人ひとりの生活リズムや発達段階に合わせ、どの子どもが安心して過ごせるように関わる
	5月	だいじょうぶ	・神さまに守られ、それぞれのペースで園生活に慣れていく ・安心できる大人のそばでありのままでいられる ・草花や小さな虫を見たり触れたりする (保)穏やかなまなざしを向け、やさしい言葉かけをしながら一人ひとりを大切に受け入れる
	6月	あれっなんだ	・保育者の祈りやさんびかを歌う姿に触れる ・周りの人に興味をもち、関わってみようとする ・自然に触れ、親しみ、心と体で感じる (保)一人ひとりの遊びや興味をよく理解し、寄り添った関わりをしていく
	7月	きもちいいね	・保育者の祈りやさんびかに親しむ ・暑いので汗を流してもらい、心地よさを感じる ・砂や泥、水に触れ、その感触に興味を有す (保)こまめな水分補給、着替え、沐浴などで心地よく過ごせるようにする
	8月	ゆったりと	・神さまや、周りの人たちに愛されていることを全身で感じる ・暑い季節の中、栄養や休息をたっぷりとり、安定したリズムの中でゆったりと過ごす ・様々な物に触れ、五感を使う (保)熱中症や感染症に配慮し、ゆっくりした時間の流れを作り出すようにする
	9月	あそぼう	・お祈りやさんびかを真似ようとする ・興味や好奇心、のびのびと体を動かす ・保育者や友だちと空や雲を見て、風を感じたり、虫の声を聞いたりする (保)個々の育ちを丁寧に見つめ直し、必要な関わりをする
	10月	やってみよう	・保育者と、一緒に祈ったりさんびかを歌ったりする ・友だちや保育者との関わりを楽しみながら、存分に遊ぶ ・季節の移り変わりを全身で感じる (保)子どもの成長を踏まえて、環境作りを行い、遊びの深まりや体の育ちを支えていく
	11月	みつける	・お祈りやさんびかを通して心地よさを感じる ・興味、探究心が深まり、活動的になる ・たくさんの自然物に触れ、遊ぶ (保)神さまからの豊かな恵みを子どもたちと一緒に感謝する
	12月	うれしいね	・保育者や友だちと一緒にクリスマスを感じ、絵本やさんびかを楽しむ ・思いを言葉にしてもらうことで、安心し、満たされる ・外気に触れながら、冬の訪れを感じる (保)冬の間の子どもの健康を守るため、室温や換気、加湿、適度な水分補給に配慮する
	1月	いっしょにね	・神さまに守られている安心感の中で過ごす ・友だちや保育者と、一緒にいることを喜び、関わり合う ・自分でやってみようとするが増える (保)遊びや生活リズムを見直し、個々の育ちに添った配慮をしていく
	2月	みんなだいすき	・保育者の祈り姿を見て、一緒に祈ろうとする ・身近な友だちの存在を感じ、保育者や友だちとやりとりしながら、模倣遊びを楽しむ ・冬の自然を感じながら遊ぶ (保)一人ひとりの育ちや個性を受けとめて丁寧に関わる
	3月	おおきくなったね	・「神さまありがとう」と保育者と、一緒に祈る時をもつ ・生活リズムが安定し、心も体も満たされて過ごす ・戸外に出て春の訪れを感じ、豊かな恵みを楽しんで味わっていく (保)子どもたち一人ひとりの成長を喜び、成長させてくださった神さまに感謝する

1・2歳児 月主題 月のねがい

月	主題	月のねがい
4月	よろしくね	・保育者と、一緒に祈ったり賛美する中で、心地よさを感じる ・出会いやつながりを感じて、安心して過ごす ・春の自然に出会って遊ぶ (保)一人ひとりの思いを受けとめ、安心して過ごせるよう丁寧に関わる
5月	だいじょうぶ	・お祈りやさんびかに親しみ、心地よさを感じる ・身近な大人に十分に受けとめてもらいながら、自分の周りの事柄に自分から関わろうとする ・自然の音や色に気付いて触れていく (保)子どもの小さな変化に気付き、共に感じることを大切にする
6月	あれっなんだ	・保育者の祈りや賛美に心を合わせ、神さまを感じる ・自分の好きなものと関わる中で、興味を広げていく ・梅雨の自然や小動物に触れ、季節を感じる (保)一人ひとりの興味関心に応じた環境を整え、一緒に楽しめるようにする
7月	ぞんぶんに	・祈りや賛美を喜ぶ中で神さまと出会う ・やりたいことを存分に楽しみ、そばにいる友だちの存在に気付き共感する ・砂や泥、水の感触を味わったり、草花に触れたりしながら楽しんで遊ぶ (保)水分補給や体調の変化を見逃さず、季節を感じて気持ちよく過ごせるようにする
8月	ゆったりと	・日々の生活の中で、神さまがそばにいることを感じる ・家族や保育者、友だちとゆったりと過ごし、心を満たす ・夏の自然を五感で感じる (保)熱中症や感染症に十分配慮し、ゆったりした時間の中で楽しめるようにする
9月	おもしろそう	・聖書のお話に触れ、親しむ ・保育者との関係が深まり、自分の思いを安心して出しながら遊ぶ ・季節の変化に気付き、花や虫、吹く風に興味をもち (保)子どもの中にある思いを受けとめ、応答する
10月	やってみよう	・保育者や友だちと一緒に祈り、賛美することを楽しむ ・好きなことや興味あることに取り組む中で、つながりを感じる ・戸外で体を動かしながら、遊びを広げていく (保)心身共にのびのびと過ごせるよう、個々の興味関心に丁寧に目を向け、子どもが満たされる環境を整える
11月	どれに しようかな	・賛美や祈りを通して神さまを身近に感じて遊ぶ ・生活の中で、やりたいことにじっくり取り組み、関わり合う ・神さまからのたくさんの恵みに感謝し触れて、遊びや生活の中に取り入れる (保)与えられている様々な恵みにまず保育者が感謝し、子どもたちと一緒に十分に味わえるような環境作りをしていく
12月	わくわく するね	・クリスマスの雰囲気や全身で感じ、わくわくしながらイエスキリストのお誕生を祝う ・友だちや保育者と共に喜びを言葉や体で表す ・冬の訪れの中で、いろいろなことを見たり感じたりして楽しむ (保)子どもたちと一緒にわくわくしながらアドベントの期間を大事に過ごす
1月	いっしょにね	・自分が大切にされていると感じ、神さまに愛されていることに気付く ・友だちと真似をし合いながら遊ぶことを楽しむ ・冬の自然の中で体を動かすことの楽しさやおもしろさを味わう (保)自分でやってみようとするが増えるように環境を整える
2月	そうなんだ	・自分の言葉で神さまとお話ししてみる ・友だちと関わる中で、友だちのいろいろな思いに触れ考える ・寒い中にも春が近づいていることを感じ、自然の不思議さやおもしろさに気付き、楽しむ (保)一人ひとりの育ちを捉えて、その子の今を大切にする
3月	おおきくなった	・神さまやたくさんの人たちに愛されて大きくなったことを喜び ・安心して毎日を過ごす中で、友だちや保育者とのやりとりを楽しむ ・春の訪れを感じ、豊かな恵みを味わっていく (保)1年間積み重ねてきた子どもたちとの関係性や個々の発達を見直しながら、一人ひとりの育ちを感謝し、より豊かな時間を過ごせるよう次年度へと引き継いでいく

3歳児 月主題 月のねがい

4・5歳児 月主題 月のねがい

2024年度 年主題 さあ、 漕ぎだそう 奏でよう	3歳児 月主題 月のねがい		4・5歳児 月主題 月のねがい	
	月	主題	月	主題
	4月	出会い	4月	出会い
	5月	うごきだす	5月	うごきだす
	6月	みつける	6月	みつける
	7月	こちよく	7月	こちよく
	8月	平和を祈る	8月	平和を祈る
	9月	のびのびと	9月	深める
	10月	心はずませて	10月	共感する
	11月	感謝しつつ	11月	感謝しつつ
	12月	共に喜ぶ	12月	共に喜ぶ
	1月	じつくりと	1月	かさねる
	2月	響き合う	2月	響き合う
	3月	希望をもって	3月	希望をもって
月のねがい			月のねがい	
・進級児も新入児も新しい出会いの中で、毎日折りと賛美をする生活が始まる ・好きな保育者、人、遊び、場所を見つけ、安心して遊び始める ・花、草、砂、虫、春の自然に触れながら遊ぶ中で、やってみたい気持ちが芽生える (保)子ども、保護者、教職員同士、一人ひとりの名前を呼び、関わり、信頼関係を築く			・日々、賛美や折り、聖書を通して神さま、イエスさまに愛されていることを感じる ・新たに出来る保育者や友だちとの関わりの中で、また、新たな環境の中で安心して過ごす (保)子どもと保護者の心に寄り添い、信頼関係を築く。保育者間での連携をもって漕ぎ出す	
・空、雲、風、木々など神さまがつくられた身近な自然に保育者と共に気づき、包まれて過ごすことの心地よさを感じる ・一人で、また保育者や友だちと一緒に好きな場所を見つけ、やりたい遊びに心を動かす ・さわやかな風の中、戸外の気持ち良さを感じながら遊ぶことを楽しむ (保)一人ひとりの生活習慣、子どもの思いのあらわし方などを保育者間、保護者と共有する			・日常の中で神さまが創造された世界を感じ感謝して祈る ・自分のやりたいことに興味や関心をもち、繰り返し楽しむ ・風、土、虫の命を感じるなど、身近な自然の中で探求することを楽しく (保)子どもの興味関心に共感し、子ども自身が動き出せる環境を整えていく	
・保育者と折り、賛美する生活を通して 神さまの存在を知る ・自分の思いを言葉だけでなく笑ったり泣いたりして表情や姿でもあらわす ・身近な自然に関心をもち、よく見たり、触れたり、拾ったり、見せ合ったりする (保)子どもの興味、関心を知り、好きな遊びを見つけれられる環境を整える			・嬉しい時も悲しい時も共にいてくださる神さまに感謝し、礼拝の時を喜ぶ ・友だちと一緒に楽しみ満足感を感じる ・園内外の自然に触れ、気候の変化を感じ、開放感を味わう (保)子どもの探求心に寄り添い、保育者自身も興味をもち共有しながら遊びを深める	
・保育者の折りを通して、自分も友だちも神さまに愛されていることをくりかえし聞く ・自分の思いを表現しようとする また思いが通らないことを経験したり、共感され安心したりする ・水、泥遊びなどを思いっきり楽しみ、気持ち良さを感じる (保)水の安全、暑さの中での熱中症、感染症など健康状態に留意する			・賛美することや祈ることの心地よさや喜びを知る ・五感を使う楽しさやおもしろさを経験し、新しいことにも挑戦する ・花や野菜の世話、生き物の飼育をしながら、自然のいのちのおもしろさや命の大切さを知る (保)子どもも保育者も健康な生活が送れるようになり、運動や水遊びなどで心身が豊かになる環境を整えようと共に、安全についての意識を高めていく	
・家族、友だち、保育者との交わりを心地よく感じる中で、神さまがつくってくださる平和な世界を知る ・異年齢や少人数の関わりの中でゆったりと過ごす ・朝、夕の涼しい時間に夏の風、自然に触れる機会をもつ (保)家庭によって夏の過ごし方が違うことに注意しながら、言葉かけをする			・身近なことから平和を考え、折り、世界にも目を向けていく ・ゆったりとした時間の中で自分のやりたいことに取りくむ、互いの思いを聞き合って過ごす ・暑さの中でも涼しい時間や場所を見つけ、水分補給や服装に気を付けて過ごす (保)共に平和と折りを心に刻み、子どもたちに伝えていきたいことをと保育者同士話し合う時間を大切にする	
・暑い夏を守られたことを神さまに感謝する ・友だちと共にいる時間を喜び、じつくりと遊びをすすめる ・空や風、季節の変化を感じ、体を動かす気持ち良さを感じる (保)休み明け、保育者自身は新しい季節に気持ちをあらたにする。それぞれの子どものペースで自分から動きだせるよう見守る			・一人ひとりに与えられている賜物に気づき感謝する ・遊びや活動を通し、友だちと互いの思いを聞き合いながらイメージを共有する ・夏から秋の自然を感じながら、心を開放し、気持ちよく体を動かす (保)遊びや活動の深まりを促すと共に子どもたちの心の変化に気づき、必要な関わりをする	
・いつも神さまに守られ、力をもらっていることを感じる ・走ったり、跳んだり、通ったり、いろいろな遊びで体を動かすことを楽しむ ・好きなことで遊ぶ中、何度も繰り返し試したりしながら夢中になる (保)保護者と家庭や園での様子を共有しながら願いをもって歩みを進める			・神さまがくださった自分自身、友だちの良いところ、苦しいことを知り、受けとめながら過ごす ・友だち同士考えを出し合って遊ぶ中、明日もやりたいという気持ちをもち ・心地よい秋の自然の中、季節の変化（風や草花、虫の音など）を感じていく (保)子どもが主体的に生活できるような環境を整え、それぞれの思いを伝え合う場を大事にし、遊びを支えていく	
・秋のみのりや身の回りの生活に神さまの守りがあることを知り、ありがたいの気持ちが芽生える ・友だちや保育者と一緒に何かになりきって遊ぶ楽しさを知る ・果物の味、たきびの煙、落ち葉の色合いなど五感を通して秋を感じる機会をもつ (保)アドベントにむけて保育者間、保護者と共に、聖書の話や歌を聞き、賛美し折り合う時をもつ			・神さまがくださった恵みを礼拝や日々の生活の中で感謝する ・友だちと遊ぶ中で思うようにならないことや自分とは違う思いがあることを経験する また、相手の思っている行動をしようとする ・秋から冬の移り変わりを感じる 自然物（木の葉や枝など）を生活や製作に取り入れる (保)子ども一人ひとりが自分の思いや力を発揮し満足できるように支えながら、アドベントへの備えをする	
・イエスさまのご降誕を楽しみに待ち、クリスマスを祝う喜びを知る ・寒さの中でも戸外で遊ぶことを喜び、一人ひとりの日常が大切にされる ・クリスマスの空気を感知しながら、歌ったりプレゼント作りなどを通していろいろな表現をすることを楽しむ (保)クリスマスの本当の意味を伝え、少しずつ準備を進め共に喜べるようにする			・神さまがイエスさまをりえてくださったクリスマスの喜びを周りの人と分かち合う ・一人ひとりにいたでいてくれる恵みに気づき、アドベントの生活を経験する ・寒さを感じる季節の中、体を動かすことに関心をもち、楽しむ (保)クリスマスを通して味わう喜びや様々な人への関心がもてるよう心にとめる。保育者間の聖書の学び、折り合いをより大切にいく	
・クリスマスを通してイエスさまを身近に感じ、お話を聞く ・お正月遊び、昔遊びなどに親しみ、友だちと一緒に遊ぶ楽しさを知る ・寒い季節の自然、氷、霜柱などに触れながら、体を動かすとき暖かくなることを知る (保)上着の着脱、衣服の調節ができるように助ける 子ども同士で遊ぶ姿を大切にしながら、保育者の関わり方に注意を払う			・クリスマスに与えられた喜びを引き続き感じながら、聖書の物語に親しみ ・今まで楽しんできたことに新たな経験を重ね遊びを広げる ・冬の不思議やおもしろさに気づき、友だちと調べたり試したりする (保)子どもたちの思いが実現できるような環境を整え、興味関心の幅を広げる	
・折りが習慣となり、自分や家族のことを祈ろうとする ・気の合う友だちと遊び、気持ちが通じる楽しさを感じる ・寒さの中にあっても、草木が春の準備をしていることに気づく (保)保育者同士や保護者と今年度を振り返り、成長を喜び、新たな願いを共有する			・イエスさまとのつながりを一人ひとりが感じて過ごす ・お互いに存在を認め合い、相談しながら、時間をかけて思いを実現していく過程を楽しむ ・冬の自然の中に次の季節への備えを知る (保)保育者同士や保護者と今年度を振り返り、成長を喜び、新たな願いを共有する	
・1年間神さまに守られて大きくなったことを感謝する ・友だちと一緒に過ごすことを楽しいと感じ、一人ひとりが違うことや、共に響きあう気持ちを味わう ・陽射しの明るさ、空気の暖かさ、花の開花から、春の訪れを感じる (保)一人ひとりの思いを大切に生きてきたからこそ、つながり奏で合う今の姿があることに喜びをもって日々を過ごす			・これまで守ってくださった神さまが、これからも希望をりえてくださることを信じて進む ・好きな遊びを満足するまで楽しむ、新たな明日に向かう ・冬から春に変わる季節の移り変わりに関心をもち (保)子ども、保護者が希望をもって次に進めるよう折り合い、支える	